

「平成 29 年度青少年育成センター運営協議会」会議録

【日 時】平成 29 年 7 月 11 日（火）19:40 ～ 20:00

【場 所】中央公民館

【出席者】門脇哲也、松本敏浩、阿部宏之、柏木雅昭、東大介、佐々木伸吾、小林将、
八木橋柳一、松本隆、干山浩一、戸田隆久 （11 名・敬称略）

【欠席者】長谷川伸、渡部和彦、田中栄治、森田真路、遠藤大輔 （5 名・敬称略）

【傍聴者】なし

【事務局】黒崎 享 （生涯学習課長兼青少年育成センター所長）、
川田 修一 （青少年育成センター副所長）、
濱田 潤 （生涯学習課生涯学習係長）
大久保 亜美（生涯学習課生涯学習係）

■開 会

新役員 8 名へ委嘱状交付。

青少年育成センター運営協議会の成立には委員の 3 分の 2 以上の出席が必要であるが、委員 16 名中 11 名が出席しており、この審議会は成立。

■協議事項

1. 平成 28 年度の活動報告

<会 長> 事務局からの報告を求める。

<事務局>

青少年育成センターの説明

青少年育成センターは生涯学習課が管轄しており、適応指導教室「やすらぎルーム」は学校教育課の管轄が管轄している。現在 2 つの仕事を行っている状況。

職員体制は所長 1 名、副所長 1 名、専任指導員 2 名、SSWI 名 となっている。

主な活動は以下の通り。

「いじめ・悩み相談ホットライン携帯電話」「青少年相談の固定電話」がある。青少年相談については毎月境港市報に電話番号を載せている。相談件数は平成 28 年度 4 件となっている。今年は 1 件ホットラインにいじめ相談が入っている。センターにきた相談については教育委員会を通して学校と情報共有をしている。

◇GW・夏季・冬季街頭パトロールへの参加

ゲームセンターは子どもではなく年配の方がコミュニケーションの場として利用することが多いようだ。

◇青少年育成センターだより（広報誌）の作成

◇学校等と連携をとり、小中学校の生徒指導部会などに参加

<会 長> 質疑・意見を求める

※質疑無し

<会 長> 質疑を打ち切る。

2. 平成 29 年度の活動計画（案）

<会 長> 事務局から説明を求める。

<事務局> 主な活動計画は以下の通り。

活動内容は例年どおり。具体的には下記のとおり。

◇活動内容

- ①街頭補導活動の実施
- ②ホットライン等での青少年相談
- ③高校生マナーアップさわやか運動への参加
- ④学校の非行防止教室、喫煙防止講演会等に参加
- ⑤育成センターだよりの発行等広報活動

<会 長> 質疑・意見を求める。

- ・ やすらぎルームの活動により不登校の子が学校に通うようになるということが実際にあるため青少年育成センターの活動には助かっている。（理事）
- ・ 最近学校で話をする機会があったが、皆顔をあげて話を聞いており、関心を示してくれた。昔はこちらが話していても居眠りをする生徒が多かったので、とても感心であった。（理事）

<会 長> 質疑を打ち切り、平成 28 年度の活動報告について承認する方の拍手を求める。

※拍手

<会 長> 拍手多数により、承認。平成 29 年度の活動報告（案）について承認する方の拍手を求める。

※拍手

<会 長> 拍手多数により、承認。

■閉 会